

所属	人間生活学部 保育学科	職名 教授	氏名 原 田 公 人
学位	博士(生涯発達科学)(筑波大学)	特記すべき資格	幼稚園教諭一級普通免許、 小学校教諭一級普通免許、 中学校教諭一種免許 外国語(英語)、高等学校教諭一種免許 外国語(英語)、聾学校教諭一種免許
I 教育活動			
主な担当科目 <学 部> 視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理、視覚障害・聴覚障害教育総論			
教育実践上の主な業績	年月日	概 要	
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 1) 免許法認定通信教育実施に際する講義配信	2018年4月～現在	国立特別支援教育総合研究所に開設した、免許法認定通信教育における聴覚障害教育関係講義をweb上で公開している。	
2. 作成した教科書、教材 1) 講座特別支援教育1特別支援教育の基礎理論【第2版】(第3章2節 聴覚障害教育、第3節特別支援学校におけるセンター的機能、言語障害教育担当) 2) 講座特別支援教育3特別支援教育の指導法【第2版】(第3章3節 「自立活動の指導」担当)	2016年7月 2016年7月	特別支援教育における教育課程上の重要領域である「自立活動」について解説した。今後も改訂があれば対応する予定。 特別支援教育における聴覚障害教育においておさえておくべき言語指導等の「指導法」について解説した。今後も改訂があれば対応する予定。	
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 1) 第51回全日本聾教育研究大会(秋田大会)基調講演 2) JAPAN補聴器フォーラム2018 「難聴児教育セミナー」講演 3) 第23回九州聴覚障害教育研究会(熊本大会)記念講演 4) 第40回中国・四国地区聾教育研究大会(山口大会)記念講演	2017年10月 2018年9月 2018年11月 2019年11月	主に、全国の特別支援学校(聴覚障害)の教員を対象とした、研究会で、基調講演を行い、わが国のインクルーシブ教育における聴覚障害教育の展望について講義した。 聴覚障害教育関係者、医療、福祉関係者、一般市民を対象として、2年一度、東京で開催されるフォーラムで、聴覚障害教育の課題、補聴ことば(日本語)の指導について講演した。 主に、九州・沖縄地区の特別支援学校(聴覚障害)、難聴特別支援学級、通常の学級等の教員を対象として、聴覚障害教育の今日的課題とその解決の方策について講演した。 主に、中国・四国地区の特別支援学校(聴覚障害)の教員を対象として、各発達段階の課題と教育的対応、言語指導・言語コミュニケーション・授業、聾学校の課題と方策について講演した。	
4. その他教育活動上特記すべき事項 1) 免許法認定講習 2) 免許法認定講習	2018年8月 2019年8月	高知県教育委員会で実施している特別支援教員免許法認定講習において、「聴覚障害者の指導法・教育課程」の講義をした。 青森県教育委員会で実施している特別支援教員免許法認定講習において、「聴覚障害者の指導法・教育課程」の講義をした。	
II 研究活動			
研究分野: 聴覚障害教育、特別支援教育		研究キーワード: 人工内耳、補聴器、地域・家族支援、インクルーシブ教育システム	
研究課題: ①我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 ②聴覚障害教育における教科指導及び自立活動の充実に関する実践的研究 -教材活用の視点からインクルーシブ教育システム構築における専門性の継承と共有を目指して- ③特別支援学校及び特別支援学級における教育課程の編成と実施に関する研究			
研究内容: ①障害者の権利に関する条約の批准や障害者差別解消法の施行を踏まえ、インクルーシブ教育システムの構築は国の重要な政策課題であり、第4期中期目標期間においては、各地域や教育現場におけるインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を着実に進めることに寄与する研究を5年計画で実施した。研究1年目(平成28年)は、インクルーシブ教育システム構築について、教育委員会、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における現状と課題を明らかにしていくことを目的として、本調査を実施した。研究2年目(平成29年)は、研究1年次の調査結果を基に、我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する評価指標(試案)を作成した。 ②全国の特別支援学校(聴覚障害)における教材の保有及び活用に関する現状調査を実施した結果、多くの教材が保有、自作されていることが示された。このため、聴覚障害児の教科指導等に係る専門性として継承・共有されるべきものの1つとして、教材とその活用の在り方を明らかにしていくことを目的とした。そして、特別支援学校(聴覚障害)数校の協力を得て、聴覚障害児の教科指導等に係る教材とその活用事例を示した。 ③研究協力機関となる特別支援学校への継続的な訪問調査により、複数障害種に対応する特別支援学校における教育課程編成、教育課程のいわゆる類型やコース制、高等部における職業教育、交流及び共同学習の教育課程での位置づけ、自立活動と他領域及び各教科の教育課程編成上の関連等について、現状を把握し、当該学校関係者の協力も得ながら、これらの課題解決のための教育課程編成の在り方について検討した。			
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況:			

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
(著 書)				
1. 特別支援教育の基礎基本(新訂版)	共	2015年1月	ジアーズ新社	89-371頁 原田公人, 澤田真弓, 庄司美代子, 尾崎裕三, 長沼俊夫, 日下奈緒美, 斎藤由美子, 小林倫代, 渥美儀賢, 柳澤亜希子, 大内進
2. 講座特別支援教育3特別支援教育の指導法【第2版】(再掲)	共	2016年7月	教育出版	60-65頁 原田公人, 斎藤佐和, 四日市章
3. 今後の特別支援教育の進展に資する特別支援学校及び特別支援学級における教育課程に関する実際的研究	共	2016年7月	特教研B-303特総研専門研究A研究成果報告書(平成26年度～27年度)	90-100頁 原田公人, 長沼俊夫, 日下奈緒美, 小林倫代, 明官茂, 柳澤亜希子, 若林上総
4. 講座特別支援教育1特別支援教育の基礎理論【第2版】(再掲)	共	2016年7月	教育出版	41-43, 52-55, 95-97頁 原田公人, 斎藤佐和, 四日市章, 庄司和史
5. JOHNS 第32巻第12号(12 201 特集:知っているようで知らない 人工内耳Q&A)	共	2016年12月	東京医学社	1708-1709頁 原田公人, 黒木良子, 守本倫子, 服部琢, 福田章一郎, 内山勉, 城間将江
6. インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書	共	2017年12月	国立特別支援教育総合研究所	1-143頁 原田公人, 星祐子, 金子健, 小林倫代, 生駒良雄, 横山貢一, 松井優子, 土井幸輝, 柳澤亜希子
7. 特別支援学校(聴覚障害)におけるキャリア教育実態調査 報告書	共	2017年9月	国立特別支援教育総合研究所	1-38頁 原田公人, 定岡孝治, 山本晃, 新谷洋介
8. 我が国におけるインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究—インクルーシブ教育システム構築の評価指標(試案)の作成—(平成28年度～29年度)研究成果報告書 インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書	共	2018年3月	国立特別支援教育総合研究所	1-5, 6-61, 66-96頁 原田公人, 星祐子, 金子健, 小林倫代, 生駒良雄, 横山貢一, 松井優子, 土井幸輝, 柳澤亜希子
9. 聴覚障害児の学習と指導-発達と心理学的基礎-	共	2018年9月	明石書店	273-291頁 原田公人, 四日市章, 鄭仁豪, 澤隆史
10. FITTING vol.31 No.4 特集: JAPAN 補聴器フォーラム2018	共	2018年10月	メディカル・ジャーナル社	6-7頁 原田公人, 伊藤健, 西村忠己
(学術論文)				
(その他)				
1. Consideration of evaluation about auditory compensation and conversation by cochlear implant (CI) children and their guardians	単	2016年7月	28th Australian and New Zealand Conference for the Education of the Deaf 2016, 12th Asia Pacific Congress on Deafness 2016(ニュージーランド:クリストチャーチ)	学会発表
2. Enabling countries to successfully address autism and other neurodevelopmental disorders as part of their Sustainable Development Goals	単	2017年4月	The International Conference on Autism and Neurodevelopmental Disorders 2017(ブータン:ティンプー)	国際会議発表
3. Support of children with cochlear implant in school age	単	2017年9月	10th Biennail Asia Pacific Conference on Speech, Language and Hearing (成田)	学会発表
4. 学齢期における人工内耳装用児の実態と支援	単	2017年10月	第62回日本音声言語医学学会(仙台)	学会発表

III 社会連携・社会貢献	
所属学会 障害科学学会, 日本リハビリテーション連携科学学会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会	
(社会的機関の役員委嘱等) <全国> 2017年～現在 2017年～現在 2018年～現在 <道内>	日本特殊教育学会編集委員 日本リハビリテーション連携科学学会理事 障害科学学会編集委員
(地域的連携・貢献)	
(国際的連携・貢献)	
IV 学内運営活動	
V 学生支援に関する自己研鑽	